

平成 28 年版

消防年報



富士山南東消防本部

(平成 29 年刊行)

は し が き

この年報は、平成29年4月1日現在における富士山南東消防本部の消防現況及び平成28年中の富士山南東消防本部の火災、救急活動状況等の消防事情を収録し、消防行政の合理的な運営と消防力の充実強化に資するものである。

なお、平成28年1月1日から平成28年3月31日までの間の統計件数に関しては、旧三島市消防本部、旧裾野市消防本部、旧長泉町消防本部の統計件数を計上している。

平成29年7月

富士山南東消防本部

目 次

1 消防の概況

一目でわかる消防	1
富士山南東消防のあゆみ	2
歴代管理者及び歴代消防長	2
管轄地域の概要（地勢・面積・人口・位置図）	3
予 算	5
（平成 29 年度 富士山南東消防組合会計 当初予算・予算額の人口世帯費）	
（平成 29 年度 富士山南東消防組合会計 当初予算 款別（節別）明細書）	
組合の組織図	7
職員の状況	8
職員の年齢別分布	9
職員の勤続年数別分布	9
消防施設の状況	10
消防車両の状況	12
消防無線の状況	15
消防水利の状況	16

2 消防広域化の現況

消防広域化のあゆみ	17
消防広域化の効果	19
市町境を越える出動件数	20

3 火災の状況

火災の概要	21
火災の概況	22
覚知別火災件数	23
原因別件数	23
曜日別火災件数	24
時間別火災件数	24
月別火災発生状況	25

4 予防業務の状況

予防業務の概要	27
防火管理実施概要	27
違反対象物公表制度	28

防火対象物数及び査察状況	29
消防同意の事務処理状況	30
消防用設備等の検査状況	30
危険物施設数	31
危険物関係事務処理状況	32
消防法による届出状況	33
火災予防条例による届出状況	33

5 救急業務の状況

救急業務の概要	35
救急業務の概況	36
月別救急活動状況	37
救急隊員の行った応急処置	38
事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員	40
事故種別搬送人員の分布	41
年齢区分別搬送人員の分布	41
急病に係る疾病分類傷病程度別搬送人員	42
曜日別救急出動件数	43
時間別救急出動件数	43
東名高速道路出動状況	44
新東名高速道路出動状況	44
救急救命士の状況	45
現場到着時心肺停止傷病者の状況	46
応急手当普及講習実施状況	47

6 救助・警防業務の状況

救助・警防業務の概要	49
救助活動の概況	49
月別救助活動状況	50
警防活動の概況	51
月別警防活動状況	51
緊急消防援助隊概要	52

7 通信業務の状況

通信業務の概要	53
災害受信件数	54

1 消 防 の 概 況



(消防長点検風景)

一目でわかる消防

平成29年4月1日



管轄地域面積
226.98km²



人口 206,805人
世帯 88,194世帯



職員定数 252人
職員数 249人
うち女性 4人



平成29年度予算
2,910,000千円



消防署 3署
分遣所 5所
指令センター 1施設



防火対象物数
6,826対象物



危険物施設数
558施設



消防水利
合計 3,510




消防ポンプ車 11台
救助工作車 3台



救急車 11台



特殊車両
はしご車 1台
化学車 1台
大型水槽車 1台



その他緊急車両
指揮車 3台
指令車 1台
資機材搬送車3台



火災統計
発生件数 47件
死者 5人
負傷者 9人



救急統計
出動件数 8,160件
搬送人員 7,361人



救助統計
出動件数 79件
救助人員 44人



災害受信件数
災害通報 8,419件

統計件数については、平成28年1月1日から平成28年12月31日までの間の件数を示しています。

富士山南東消防のあゆみ

平成28年4月	富士山南東消防本部の運用を開始
〃 9月	消防広域化による様々なスケールメリットを生かした中長期的な消防本部のあり方を検討するため、若手・中堅職員8名で構成された「富士山南東消防本部あり方検討委員会」を開催。平成29年3月までに13回開催。
〃 12月	消防ポンプ車1台を更新し、北分遣所に配置した。
	高規格救急車1台を更新し、北分遣所に配置した。
	資機材搬送車1台を更新し、三島消防署に配置した。
平成29年3月	指揮広報車1台を更新し、裾野消防署に配置した。
〃 4月	指揮支援隊を発隊
	隔日勤務者の勤務体制を2部制に統一する。
	救命救急士資格取得者2名（救急救命士有資格者65名となる）
	違反対象物公表制度の運用を開始

歴代管理者及び歴代消防長

管理者

氏名	就任年月	退任年月	備考
豊岡 武士	平成28年1月	—	三島市長

副管理者

氏名	就任年月	退任年月	備考
高村 謙二	平成28年1月	—	裾野市長
遠藤日出夫	平成28年1月	—	長泉町長
中村 正藏	平成28年1月	平成29年3月	三島市副市長

消防長

氏名	就任年月	退任年月	備考
齋藤 忍	平成28年4月	—	

管轄地域の概要

地勢

静岡県の東部に位置するこの地域は、世界文化遺産の富士山の麓に、東には箱根外輪山、西には愛鷹連山、南に駿河湾を望み、豊富な地下水にも恵まれ、美しい自然に囲まれた地域である。

近年では、新東名高速道路や東駿河湾環状道路が開通し、東海道新幹線などの鉄道網と共に交通アクセスの利便性にも優れている。

面積・人口・世帯数

富士山南東消防本部が管轄する地域は、226.98 km²の面積に 206,805 人の住民が生活している。

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

区 分 \ 地 域	合 計	三島市	裾野市	長泉町	受託地区 ¹
面 積 (単位：km ²)	226.98	62.02	138.12	26.63	0.21
人 口 (単位：人)	206,805	111,239	52,590	42,899	77
世帯数 (単位：世帯)	88,194	48,675	21,564	17,915	40

¹ 御殿場市から受託した御殿場市神山須釜地区。

位置図



予 算

平成 29 年度 富士山南東消防組合会計 当初予算

歳 入

款	金額 (千円)
1 分担金及び負担金	2,494,052
2 使用料及び手数料	4,131
3 国庫支出金	1
4 県支出金	16,839
5 財産収入	1
6 寄附金	1
7 繰越金	1
8 諸収入	46,174
9 組合債	348,800
合 計	2,910,000

歳 出

款	金額 (千円)
1 議会費	1,161
2 総務費	204,799
3 消防費	2,688,284
4 公債費	1,356
5 予備費	14,400
合 計	2,910,000

予算額の人口世帯費

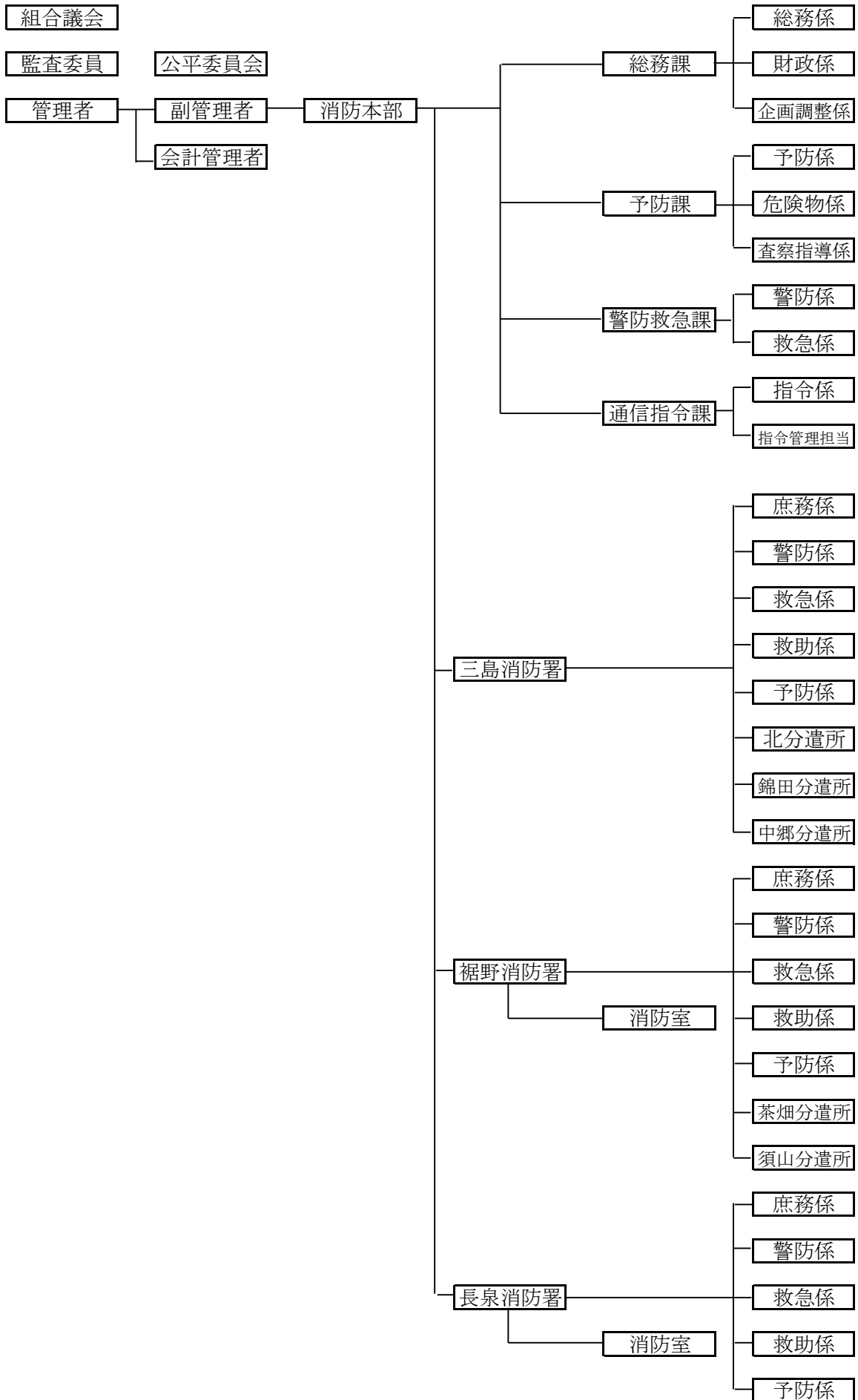
(平成 29 年 4 月 1 日現在)

当初予算額 (千円)	管轄地域の人口 一人当たり (円)	管轄地域の世帯 一世帯当たり (円)
2,910,000	14,071	32,995

平成29年度 富士山南東消防組合会計 当初予算 款別（節別）明細書

節	款					合計 (千円)	構成比 (%)
	01 議会費	02 総務費	03 消防費	04 公債費	05 予備費		
01 報酬	565	787				1,352	0.0
02 給料		111	922,205			922,316	31.7
03 職員手当等			725,248			725,248	24.9
04 共済費			319,221			319,221	11.0
07 賃金			16,426			16,426	0.6
08 報償費		100	472			572	0.0
09 旅費	275	727	6,906			7,908	0.3
10 交際費	50	50	30			130	0.0
11 需用費	100	20,771	87,708			108,579	3.7
12 役務費	171	5,421	27,226			32,818	1.1
13 委託料		9,883	129,686			139,569	4.8
14 使用料及び賃借料		23,489	5,721			29,210	1.0
16 原材料費			366			366	0.0
17 公有財産購入費			159,000			159,000	5.5
18 備品購入費		60	236,029			236,089	8.1
19 負担金補助及び交付金		143,400	50,494			193,894	6.7
23 償還金利子及び割引料				1,356		1,356	0.0
27 公課費			1,546			1,546	0.1
29 予備費					14,400	14,400	0.5
合 計	1,161	204,799	2,688,284	1,356	14,400	2,910,000	100.0

組合の組織図



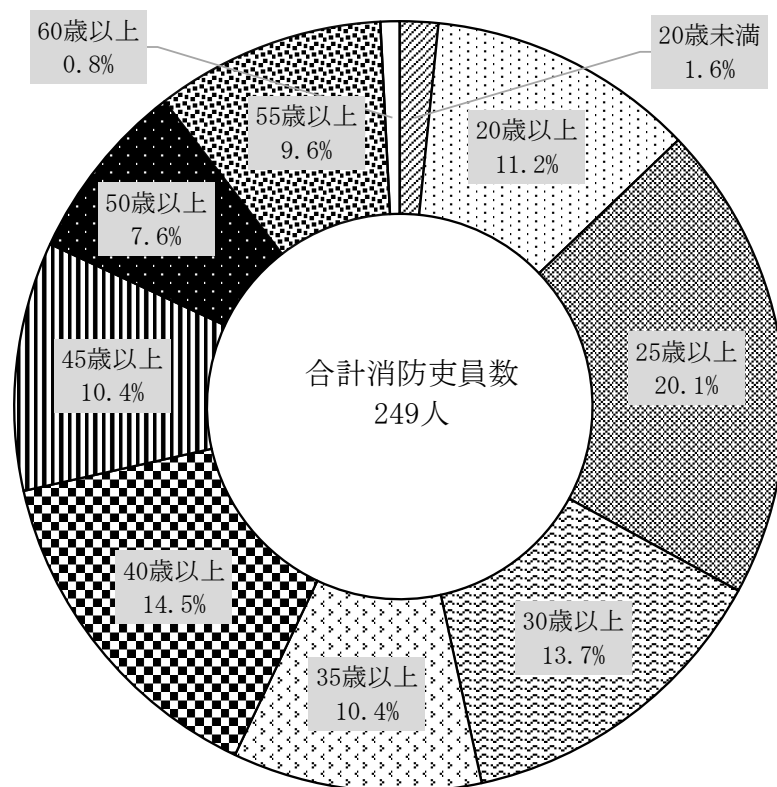
職員の状況

(平成29年4月1日現在)

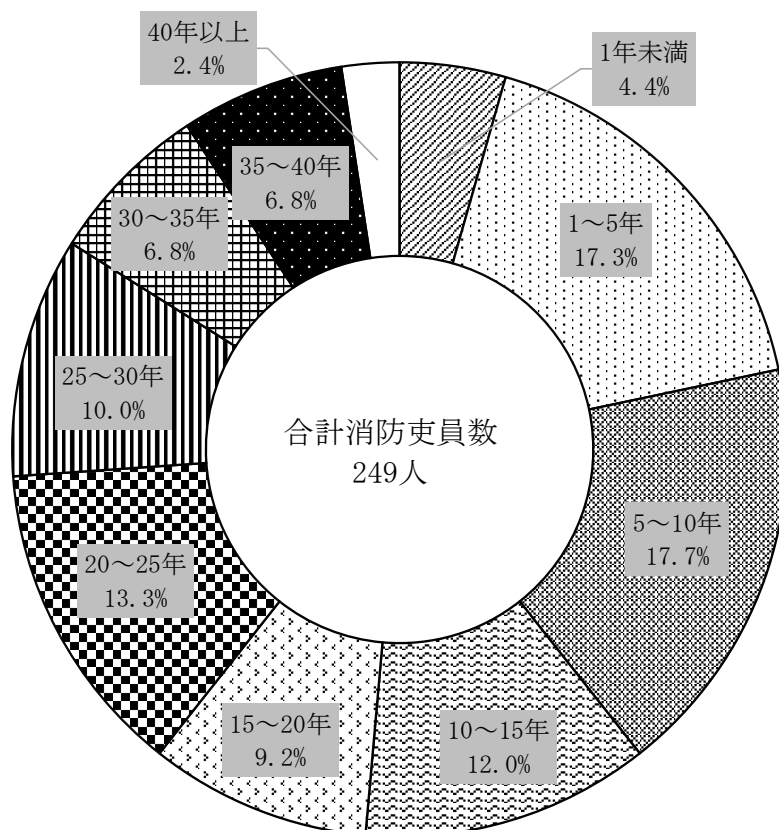
階級 区分	合計 (人)	消防 正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務 職員	
合計 (事務職員を除く)	249 (4) 【1】	1	5	8	32	63	45 【1】	38(1)	57(3)	5(1)	
配 置 別	消 防 長	1	1								
	消 防 次 長	1		1							
	総 務 課	19		1	1	3	2	1	10	5(1)	
	予 防 課	8			1	2	2	1	2		
	警 防 救 急 課	13(1)			1	2	5	4	1(1)		
	消 防 本 部	7(1)			1	1	1	3	1(1)		
	指 揮 支 援 隊	6				1	4	1			
	通 信 指 令 課	17			1	4	5	5	2		
	三 島 消 防 署	95(2)		1	2	12	26	10	18	26(2)	
	消 防 署	47(2)		1	2	8	12	6	7	11(2)	
	北 分 遣 所	28				2	8	3	7	8	
	錦 田 分 遣 所	10				1	3		3	3	
	中 郷 分 遣 所	10				1	3	1	1	4	
	裾 野 消 防 署	61 (1) 【1】		1	1	9	15	17 【1】	7(1)	11	
	消 防 署	41 (1) 【2】		1	1	7	10	11 【1】	4(1)	7	
	茶 畑 分 遣 所	10				1	3	3	1	2	
	須 山 分 遣 所	10				1	2	3	2	2	
	長 泉 消 防 署	34		1	1	2	7	6	8	9	
	年 齢 別	20 歳 未 満	4(1)							4(1)	
		20 歳 以 上	28(2)							28(2)	
25 歳 以 上		50(1)						25(1)	25		
30 歳 以 上		34					23	11			
35 歳 以 上		26				5	20	1			
40 歳 以 上		36				1	33	1	1		
45 歳 以 上		26				8	18				
50 歳 以 上		19			3	11	5				
55 歳 以 上		24		5	5	12	2				
60 歳 以 上		2 【1】	1					1 【1】			
勤 続 年 数 別	1 年 未 満	11 【1】					1 【1】		10		
	1年～5年未満	43(2)	1					4	38(2)		
	5年～10年未満	44(2)					7	28(1)	9(1)		
	10年～15年未満	30				2	23	5			
	15年～20年未満	23				10	13				
	20年～25年未満	33				1	30	1	1		
	25年～30年未満	25			1	6	18				
	30年～35年未満	17		2	1	11	3				
	35年～40年未満	17		1	4	12					
	40 年 以 上	6		2	2	2					

() は内数で、女性消防吏員数を、【 】 は内数で、再任用職員数を示す。

職員の年齢別分布



職員の勤続年数別分布



消防施設の状況

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

富士山南東消防本部

運用開始年月 平成 28 年 4 月
体 制 1 消防本部 3 消防署 5 分遣所

所 在 地 三島市南田町 4-40

三島消防署

運用開始年月 平成 18 年 9 月
敷地面積 6466.58 m²
延べ面積 3506.81 m²
建築経費 947 百万円
所 在 地 三島市南田町 4-40

北分遣所

運用開始年月 昭和 59 年 1 月
敷地面積 1184.20 m²
延べ面積 305.70 m²
建築経費 47 百万円
所 在 地 三島市文教町 2-1-32



錦田分遣所

運用開始年月 平成 9 年 3 月
敷地面積 449.72 m²
延べ面積 126.09 m²
建築経費 55 百万円
所 在 地 三島市谷田 (並木) 294-1

中郷分遣所

運用開始年月 昭和 49 年 5 月
敷地面積 410.92 m²
延べ面積 158.80 m²
建築経費 11 百万円
所 在 地 三島市中島 85-14



消防指令センター

運用開始年月 平成 27 年 10 月
延べ面積 328.23 m²

建築経費 167.4 百万円
所在地 三島市南田町 4-40

裾野消防署

運用開始年月 平成 15 年 3 月
敷地面積 4555.00 m²
延べ面積 3447.80 m²
建築経費 1,135 百万円
所在地 裾野市石脇 515

茶畑分遣所

運用開始年月 昭和 55 年 12 月
敷地面積 653.30 m²
延べ面積 184.95 m²
建築経費 21.3 百万円
所在地 裾野市茶畑 850-3



須山分遣所

運用開始年月 平成 21 年 12 月
敷地面積 1991.45 m²
延べ面積 414.49 m²
建築経費 179 百万円
所在地 裾野市須山 1545-8

長泉消防署

運用開始年月 平成元年 3 月
敷地面積 1515.73 m²
延べ面積 1627.73 m²
建築経費 277 百万円
所在地 長泉町中土狩 910-1



消防車両の状況

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

消防ポンプ車 11 台 (水槽付き含む)
 救急車 11 台
 救助工作車 3 台 (Ⅱ型)
 化学車 1 台 (Ⅱ型)
 はしご車 1 台 (30m級)
 水槽車 1 台 (小型動力ポンプ付Ⅱ型)

下記に配置署所等を示す。

【消防ポンプ車】

署所名称		車両名称	整備 年度	緊援隊 登 録	補助金
三 島 消 防 署	消 防 署	水槽付ポンプ車 (2号車)	H15	○	国庫
	北分遣所	ポンプ車 (1号車)	H28	-	-
		水槽付ポンプ車 (3号車)	H10	-	-
	錦田分遣所	ポンプ車 (5号車)	H24	-	-
	中郷分遣所	水槽付ポンプ車 (4号車)	H22	○	国庫
裾 野 消 防 署	消 防 署	水槽付ポンプ車 (1号車)	H19	-	国庫(防)
		ポンプ車 (3号車)【非常用】	H9	-	国庫
	茶畑分遣所	水槽付ポンプ車 (4号車)	H17	-	国庫(防)
	須山分遣所	水槽付ポンプ車 (5号車)	H14	○	国庫(防)
長 泉 消 防 署	水槽付ポンプ車 (1号車)		H23	○	国庫
	ポンプ車 (3号車)		H26	-	-

【救急車】

署所名称		車両名称	整備年度	緊援隊登録	補助金
三島消防署	消防署	救急車 (2号車)	H23	-	-
		救急車 (4号車)	H22	○	国庫
	北分遣所	救急車 (1号車)	H28	-	-
		救急車 (5号車)	H24	-	その他
裾野消防署	消防署	救急車 (1号車) 【非常用】	H16	-	国庫(防)
		救急車 (3号車)	H20	-	国庫(防)
	茶畑分遣所	救急車 (2号車)	H23	○	その他
	須山分遣所	救急車 (5号車)	H21	-	国庫(防)
長泉消防署		救急車 (1号車) 【非常用】	H16	-	国庫
		救急車 (2号車)	H20	-	-
		救急車 (3号車)	H23	-	その他

【救助工作車】

署所名称	車両名称	整備年度	緊援隊登録	補助金
三島消防署	救助工作車	H12	-	その他
裾野消防署	救助工作車	H27	-	国庫(防)
長泉消防署	救助工作車	H11	-	その他

【化学車】

署所名称	車両名称	整備年度	緊援隊登録	補助金
裾野消防署	化学車	H27	-	国庫(防)

【はしご車】

署所名称	車両名称	整備 年度	緊援隊 登 録	補助金
三島消防署	はしご車	H6	-	-

【水槽車】

署所名称	車両名称	整備 年度	緊援隊 登 録	補助金
三島消防署	水槽車	H11	-	-

【指揮車】

署所名称	車両名称	整備 年度	緊援隊 登 録	補助金
三島消防署	指揮車	H23	-	-
裾野消防署	指揮車	H20	-	-
長泉消防署	指揮車	H12	-	-

【その他車両】

署所名称	車両名称	整備 年度	緊援隊 登 録	補助金	
三島消防署	広報車	H14	-	-	
	資機材搬送車	H28	-	-	
	指令車	H17	-	その他	
	ミニ消防車	H24	-	-	
	救急指導車	H26	-	その他	
	連絡車	H11	-	その他	
裾野消防署	消 防 署	指揮広報車	H28	-	-
		資機材搬送車	H26	○	-
		防火指導車	H24	-	-
		連絡車 2	H17	-	-
	茶畑分遣所	連絡車 1	H11	-	-
須山分遣所	連絡車 3	H21	-	その他	
長泉消防署	広報車	H17	-	-	
	作業車（資機材搬送車）	H25	-	-	

消防無線の状況

(平成29年4月1日現在)

所 属	種別	設 置 場 所	呼 出 名 称	出 力
三 島 消 防 署	基地局	指令センター	みしましれい	5 W
	〃	三島消防署	みしましょうぼう	〃
	移動局	指揮車	みしましき1	〃
	〃	1号車	みしま1	〃
	〃	2号車	〃 2	〃
	〃	3号車	〃 3	〃
	〃	4号車	〃 4	〃
	〃	5号車	〃 5	〃
	〃	水槽車	〃 10	〃
	〃	はしご車	〃 31	〃
	〃	救助工作車	〃 41	〃
	〃	指令車	〃 51	〃
	〃	広報車	〃 52	〃
	〃	資機材搬送車	〃 71	〃
	〃	救急1号車	きゅうきゅうみしま1	〃
	〃	救急2号車	〃 2	〃
	〃	救急4号車	〃 4	〃
	〃	救急5号車	〃 5	〃
	〃	三島消防署	みしまかほん1	〃
	携帯無線	三島消防署	みしま101~136	2 W
裾 野 消 防 署	基地局	裾野消防署	すそのしょうぼう	5 W
	移動局	指揮車	すそのしき1	〃
	〃	1号車	すその1	〃
	〃	3号車	〃 3	〃
	〃	4号車	〃 4	〃
	〃	5号車	〃 5	〃
	〃	化学車	〃 6	〃
	〃	救助工作車	〃 41	〃
	〃	指揮広報車	〃 61	〃
	〃	防火指導車	〃 62	〃
	〃	資機材搬送車	〃 71	〃
	〃	連絡車	〃 72	〃
	〃	〃	〃 73	〃
	〃	〃	〃 75	〃
	〃	救急1号車	きゅうきゅうすその1	〃
	〃	救急2号車	〃 2	〃
	〃	救急3号車	〃 3	〃
	〃	救急5号車	〃 5	〃
	〃	裾野消防署	すそのたくじょう1	〃
	〃	〃	すそのかほん1	〃
〃	〃	〃 2	〃	
〃	〃	〃 3	〃	
携帯無線	裾野消防署	すその101~118	2 W	

長 泉 消 防 署	基地局	長泉消防署	ながいずみしょうぼう	5	W
	移動局	1号車	ながいずみ1	〃	
	〃	3号車	〃 3	〃	
	〃	救助工作車	〃 41	〃	
	〃	指令車	〃 51	〃	
	〃	広報車	〃 52	〃	
	〃	作業車	〃 61	〃	
	〃	救急1号車	きゅうきゅうながいずみ1	〃	
	〃	救急2号車	〃 2	〃	
	〃	救急3号車	〃 3	〃	
	〃	長泉消防署	ながいずみたくじょう1	〃	
	〃	〃	ながいずみかはん1	〃	
	〃	〃	〃 2	〃	
	携帯無線	長泉消防署	ながいずみ101~112	2	W

消防水利の状況

(平成29年4月1日現在)

種 別		地 域	合 計	三島市	裾野市	長泉町	
合 計 (その他を除く)			3,510	1,812	1,042	656	
消 火 栓	計		2,591	1,396	783	412	
	公 設		2,518	1,342	773	403	
	私 設		73	54	10	9	
防 火 水 槽	合 計		919	416	259	244	
	公 設	計		564	250	231	83
		耐 震	小 計	419	178	160	81
			100t以上	25	6	13	6
			60t以上100t未満				
			40t以上60t未満	394	172	147	75
		20t以上40t未満					
		非 耐 震	小 計	145	72	71	2
			100t以上				
			60t以上100t未満				
			40t以上60t未満	87	50	37	
	20t以上40t未満	58	22	34	2		
	私 設	計	355	166	28	161	
		耐 震	小 計	200	113	25	62
			100t以上	11	4	4	3
			60t以上100t未満	6		1	5
			40t以上60t未満	183	109	20	54
20t以上40t未満							
非 耐 震		小 計	155	53	3	99	
		100t以上	17	12		5	
	60t以上100t未満	8			8		
	40t以上60t未満	47	16		31		
20t以上40t未満	83	25	3	55			
そ 他 ²	計	32	21	11			
	プール	30	19	11	-		
	池・その他	2	2		-		

² 従来の消防本部で指定した水利の数を計上。

2 消防広域化の現況



(平成 28 年 4 月 1 日 富士山南東消防本部開所式)

消防広域化のあゆみ

広域消防本部運用までの法改正等及び協議会等の変遷

平成 18 年 6 月	消防組織法の一部が改正され、「第 4 章市町村の消防の広域化」が追加される。(国)
〃 7 月	「市町村の消防の広域化に関する基本指針」が告示され、基本指針が示される。(国) <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主的な市町村の消防の広域化の推進に関する基本的な事項 ・ 広域化を推進する期間 ・ 推進計画に定める市町村の組み合わせ及び都道府県における必要な措置に関する基準 ・ 広域化後の消防の円滑な運営の確保に関する基本的な事項 ・ 市町村の防災に係る関係機関相互間の連携の確保に関する事項
平成 20 年 3 月	静岡県では、県全体を東部、中部、西部の 3 圏域消防本部を基本とした「静岡県消防救急広域化推進計画」を策定する。
平成 22 年 7 月	8 市 8 町（裾野市、長泉町、三島市、沼津市、清水町、熱海市、函南町、伊豆市、伊豆の国市、伊東市、東伊豆町、西伊豆町、下田市、松崎町、河津町、南伊豆町）が、消防の広域化を協議研究する任意協議会として「駿東伊豆地区消防救急広域化研究協議会」を設置する。
平成 24 年 3 月	「駿東伊豆地区消防救急広域化研究協議会」を解散する。
〃 5 月	三島市、裾野市及び長泉町で消防通信指令施設の共同整備、消防指令システム施設及び消防救急デジタル無線施設の共同整備及び消防広域化を検討していくことで合意し、「三島市、裾野市及び長泉町消防広域研究協議会」を任意協議会として設置する。
平成 25 年 4 月	「市町村の消防の広域化に関する基本指針の一部改正」が通知される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域化の人口要件の緩和 ・ 財政措置の延長 ・ 推進の期限の延長 ・ 重点地域の指定
平成 26 年 4 月	三島、裾野、長泉地区が「市町村の消防の広域化に関する基本指針」に規定する、消防広域化重点地域に指定される。

平成 27 年 4 月	地方自治法第 252 条の 2 の 2 第 1 項の規定により、消防通信指令施設に関する事務を共同で管理し、及び執行し、消防広域化の事務の管理及び執行について連絡調整を図り、並びに広域消防運営計画を共同で作成するため、「三島市、裾野市及び長泉町消防広域化推進協議会」を設置する。
〃 10 月	三島市、裾野市及び長泉町消防通信指令施設の共同運用を開始する。
〃 12 月	三島市、裾野市及び長泉町広域消防運営計画を作成する。
平成 28 年 1 月	地方自治法第 284 条第 2 項の規定により、「富士山南東消防組合」を設置する。
〃 4 月	富士山南東消防本部の運用を開始する。

消防広域化の効果

(1) 現場到着時間の短縮

消防ポンプ車・救急車の運用効果においては、災害通報受信後ただちに、直近署所から出動することが可能となったため、現場到着時間が短縮し、より迅速に対応することが可能となった。

また、広域化前の管轄区域（市町境）を越えた応援出動件数は、平成 27 年は年間 30 件であったが、平成 28 年は年間 330 件と大幅に増加した。

(2) 災害発生時における初動体制、増援体制の強化

災害現場では、初期段階でいかに多くの人員・車両を迅速に投入できるかが重要となる。この初動で出動できる緊急車両が、広域化前の裾野市 4 台、長泉町 3 台から、それぞれ 6 台に増加し、現場活動要員も 6～9 人増員となった。

また、管轄の緊急車両が不在のときでも、他署から迅速に駆けつけることが可能となった。

(3) 予防業務の強化

予防業務の専門化、高度化を図ることで、不特定多数の人が利用する建造物や危険物取り扱い施設の検査・指導をする予防業務の体制強化が図られた。

平成 27 年度は年間 653 件であった防火対象物への立入検査実施数は、平成 28 年度は年間 743 件と増加した。

(4) スケールメリットを生かした消防車両・資機材の整備

消防車両・資機材は、高価で維持管理にも多額の費用を要するため、単独の消防本部で運用するには財政的に大きな負担となる。そこで、広域化によるスケールメリットを生かし、計画的に整備を進めている。平成 28 年度は消防ポンプ車 1 台と救急車 1 台、資機材搬送車 1 台を更新することができた。

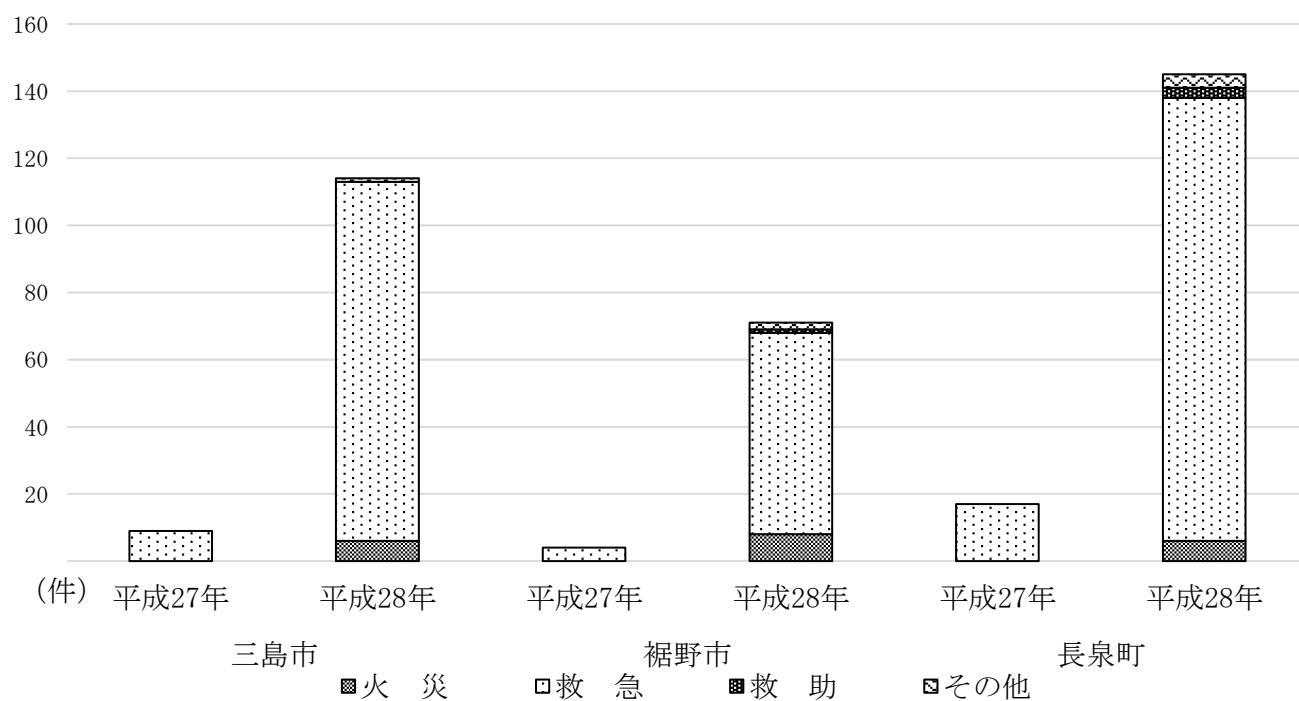
また、「はしご車」は三島市のみ、「化学車」は裾野市のみ保有であったが、広域化により共同で活用することが可能となった。このほか「水槽車」は、山間部での火災や高速道路での車両火災など、水利が不足する現場で活躍している。

市町境を越える出動件数

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

出動地域 出動消防署	三島市	裾野市	長泉町	総数	前年	増減	
合計 (件)	114	71	145	330	30	300	
火災 出動	小計	6	8	6	20		20
	三島消防署		5	3	8		8
	裾野消防署	1		3	4		4
	長泉消防署	5	3		8		8
救急 出動	小計	107	60	132	299	30	269
	三島消防署		9	106	115	16	99
	裾野消防署	68		26	94	3	91
	長泉消防署	39	51		90	11	79
救助 出動	小計		1	3	4		4
	三島消防署			3	3		3
	裾野消防署						
	長泉消防署		1		1		1
その他 出動	小計	1	2	4	7		7
	三島消防署			4	4		4
	裾野消防署						
	長泉消防署	1	2		3		3

出動した地域ごとの前年比較



3 火災の状況



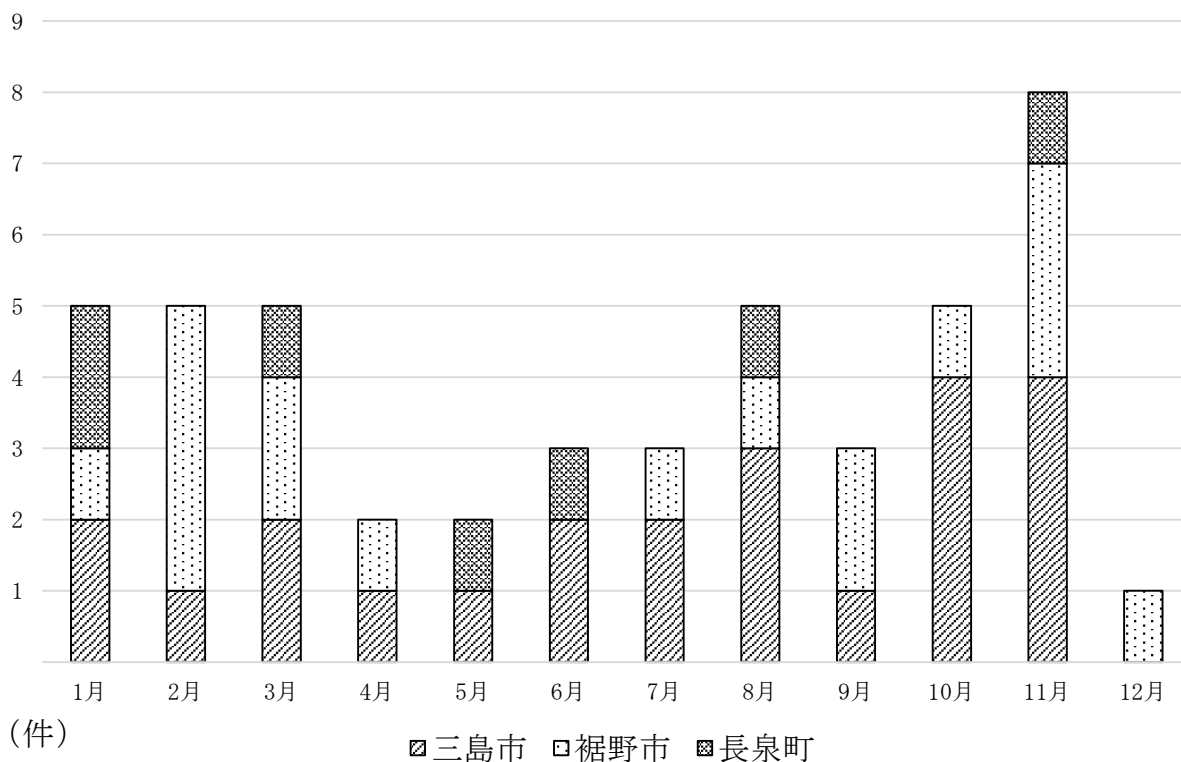
(更新整備された消防ポンプ1号車)

火災の概要

平成28年中の管轄地域における火災件数は47件であった。火災種別は「建物火災」29件、「車両火災」10件、「その他の火災」8件で、その割合は、建物火災61.7%、車両火災21.3%、その他の火災17.0%となっている。地域別の火災件数は、「三島市」23件、「裾野市」17件、「長泉町」7件となっている。

〔月別火災発生件数〕

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)



火災の概況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

区 分		地 域	合 計	三島市	裾野市	長泉町
出火件数	計 (件)		47	23	17	7
	建物火災		29	17	7	5
	林野火災					
	車両火災		10	3	7	
	その他の火災		8	3	3	2
	爆発 (内数)					
建物焼損棟数	計 (棟)		35	20	7	8
	全 焼		7	2	2	3
	半 焼		1		1	
	部 分 焼		8	7	1	
	ぼ や		19	11	3	5
焼損面積	建物床面積 (㎡)		938	397	364	177
	建物表面積 (㎡)		30	29	1	
	林野火災 (a)					
死傷者	計 (人)		14	9	4	1
	死 者		5	4		1
	負 傷 者		9	5	4	
り災	世帯 (世帯)		41	17	9	15
	人員 (人)		63	35	18	10
損害額	計 (千円)		51,420	28,125	18,099	5,196
	建物火災		45,294	27,862	14,098	3,334
	林野火災					
	車両火災		4,236	235	4,001	
	その他の火災		1,890	28		1,862
出火率 ³ (件/万人)			2.3	2.1	3.2	1.6

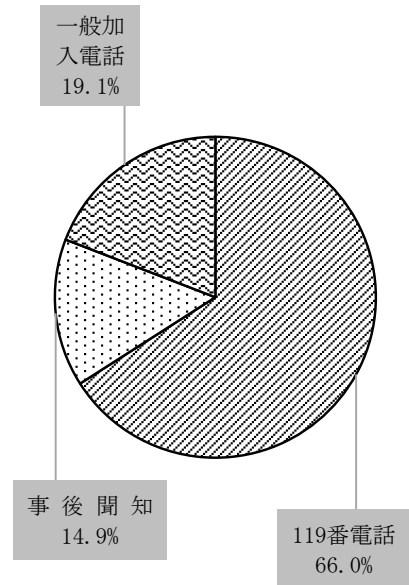
平成28年12月31日時点の人口 (人)	207,121	111,410	52,711	43,000
----------------------	---------	---------	--------	--------

³ 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。

覚知別火災件数

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

種 別 \ 地 域	合 計	三島市	裾野市	長泉町
合 計 (件)	47	23	17	7
119番電話	31	15	11	5
事後聞知	7	4	2	1
一般加入電話	9	4	4	1
駆け付け				
そ の 他				



原因別件数

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

発生原因 \ 地 域	合 計	三島市	裾野市	長泉町	前年
合 計 (件)	47	23	17	7	47
たばこ	9	5	3	1	2
こんろ	7	6	1		1
ストーブ	4	1	2	1	2
放 火	3	3			6
配線器具	2	2			3
電気機器	1		1		2
マッチ・ライター	1	1			1
かまど	1			1	1
放火の疑い					4
電気装置					3
たき火					2
取 灰					2
ボイラー					1
電灯・電話等の配線					1
煙突・煙道					1
排 気 管					1
そ の 他	14	2	10	2	7
不 明	5	3		2	7

曜日別火災件数

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

曜日	地域	合計	三島市	裾野市	長泉町
合計(件)		47	23	17	7
日		5	2	2	1
月		10	5	3	2
火		6	3	2	1
水		5	2	3	
木		5	1	3	1
金		7	4	3	
土		8	5	1	2
不明		1	1		

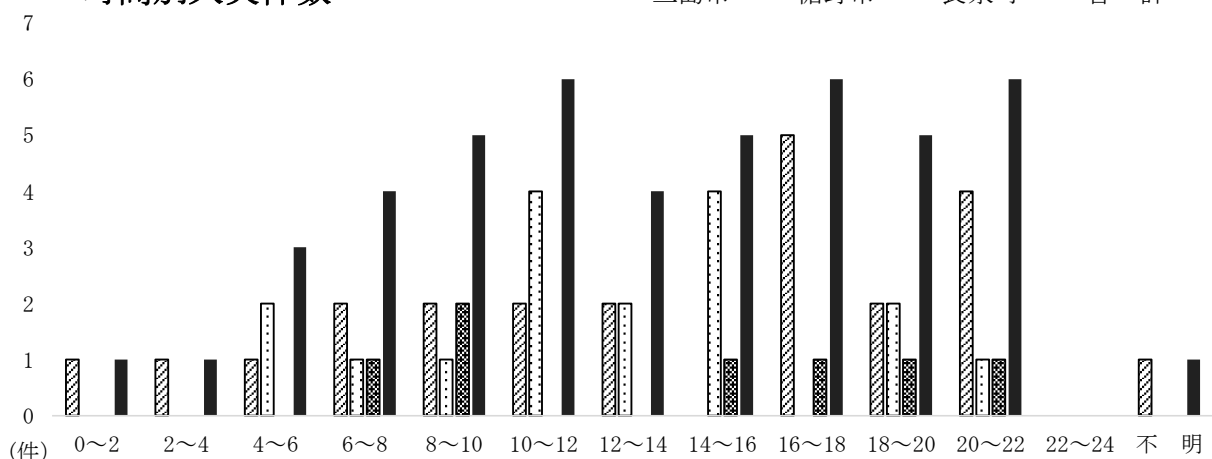
時間別火災件数

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

時間帯	地域	合計	三島市	裾野市	長泉町
合計(件)		47	23	17	7
0～2		1	1		
2～4		1	1		
4～6		3	1	2	
6～8		4	2	1	1
8～10		5	2	1	2
10～12		6	2	4	
12～14		4	2	2	
14～16		5		4	1
16～18		6	5		1
18～20		5	2	2	1
20～22		6	4	1	1
22～24					
不明		1	1		

時間別火災件数

■三島市 □裾野市 ▨長泉町 ■合計



月別火災発生状況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

区分	火災件数					焼損棟数				り災世帯	り災人員	焼損面積			死傷者(人)		損害額(千円)					
	計(件)	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災	計(件)	全焼	半焼	部分焼			ぼや	建物床面積㎡	建物表面積㎡	林野火災a	火災	死者	負傷者	計	建物	林野	車両
1月	5	4			1	4				4	3	6	1				190	190				
2月	5	1		2		1	1				1	1	159			2	5,019	4,857		162		
3月	5	3			2	4	1			3	2	3	47				1,789	1,789				
4月	2	2				2	2				2	5	294			1	24,982	24,982				
5月	2	1			1	1		1			1	1	34			1	2,711	849				1,862
6月	3	3				4		1		3	10	5				1	97	97				
7月	3	2		1		4	1			3	3	6	135	1		2	3,023	3,003		20		
8月	5	1		2	2	1				1	1	2					1,912			1,884		28
9月	3	1		2		1				1	1	1				1	166	10		156		
10月	5	3		2		3		3			3	6	5	8		1	450	367		83		
11月	8	8				10	2	1	3	4	14	27	263	17	3	9,150	9,150					
12月	1																1,931			1,931		
合計	47	29		10	8	35	7	1	8	19	41	63	938	30	5	51,420	45,294		4,236		1,890	
前年	47	25		8	14	28	3		8	17	16	44	415	49	2	31,989	25,424		6,250		315	
増減		4		2	△6	7	4	1		2	25	19	523	△19	3	19,431	19,870		△2,014		1,575	

4 予防業務の状況



(予防業務風景)

全国統一防火標語

昭和41年度	火の始末人にたのむな 任せるな	平成4年度	点検を 重ねて築く“火災ゼロ”
昭和42年度	さあ ねようアッそのまえに火の点けん	平成5年度	防火の輪 つなげて広げて なくす火事
昭和43年度	あなたは火事の恐ろしさを知らない	平成6年度	安心の 暮らしの中心 火の用心
昭和44年度	今捨てたタバコの温度が 700 度	平成7年度	災害に 備えて日頃の 火の用心
昭和45年度	防火三百六十五日	平成8年度	便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ
昭和46年度	いま燃えようとしている火がある	平成9年度	つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火
昭和47年度	慣れた火に 新たな注意	平成10年度	気をつけて はじめはすべて 小さな火
昭和48年度	隣にも声かけあってよい防火	平成11年度	あぶないよ ひとりぼっちにした その火
昭和49年度	生活の一部にしよう 火の点検	平成12年度	火をつけた あなたの責任 最後まで
昭和50年度	幸せを明日につなぐ 火の始末	平成13年度	たしかめて。火を消してから 次のこと
昭和51年度	火災は人災 防ぐはあなた	平成14年度	消す心 置いてください 火のそばに
昭和52年度	使う火を消すまで離すな 目と心	平成15年度	その油断 火から炎へ 災いへ
昭和53年度	それぞれの持場で生かせ 火の用心	平成16年度	火は消した？ いつも心に きいてみて
昭和54年度	これくらいと思う油断を火が狙う！	平成17年度	あなたです 火のあるくらしの 見はり役
昭和55年度	あなたです！ 火事を出すのも防ぐのも	平成18年度	消さないで あなたの心の 注意の火。
昭和56年度	毎日が防火デーです ぼくの家	平成19年度	火は見てる あなたが離れる その時を
昭和57年度	火の用心 心で用心 目で用心	平成20年度	火のしまつ 君がしなくて 誰がする
昭和58年度	点検は 防火のはじまり しめくくり	平成21年度	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子
昭和59年度	“あとで”より“いま”が大切 火の始末	平成22年度	「消したかな」 あなたを守る 合言葉
昭和60年度	怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」	平成23年度	消したはず 決めつけしないで もう一度
昭和61年度	防火の大役 あなたが主役	平成24年度	消すまでは 出ない 行かない 離れない
昭和62年度	消えたかな！ 気になるあの火 もう一度	平成25年度	消すまでは 心の警報 ONのまま
昭和63年度	その火 その時 すぐ始末！	平成26年度	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
平成元年度	おとなりに あげる安心 火の始末	平成27年度	無防備な 心に火災が かくれんぼ
平成2年度	まず消そう 火への鈍感 無関心	平成28年度	消しましょう その火その時 その場所で
平成3年度	毎日が 火の元警報 発令中	平成29年度	火の用心 ことばを形に 習慣に

予 防 業 務 の 概 要

平成 29 年 4 月 1 日現在、管轄地域における防火対象物は 6,826 対象物、危険物施設は 558 施設である。

地域別では、防火対象物は「三島市」3,482 対象物、「裾野市」1,903 対象物、「長泉町」1,441 対象物で、危険物施設は「三島市」147 施設、「裾野市」251 施設、「長泉町」160 施設である。

防 火 管 理 実 施 概 要

消防法は、学校、病院、工場、百貨店等の多数の者が出入りし、勤務し、又は居住する防火対象物の管理について権原を有する者に、一定の資格を有する者の中から防火管理者を選任し、その旨を届出なければならないことを定めている。

また、防火管理者に消防計画を作成させ、その消防計画に基づき、消火、通報及び避難訓練の実施、消防用設備等の点検及び整備、火気の使用又は取扱いの監督等の防火管理上必要な業務を実施させなければならない。

平成 29 年 4 月 1 日現在の管轄地域の防火管理状況は、防火管理者選任率 81.2%、消防計画作成率 77.4%となっている。

違反対象物公表制度

平成 29 年 4 月 1 日、重大な消防法令等違反のある建物について、利用者等に建物の危険性に関する情報を公開する「違反対象物公表制度」の運用を開始した。

これは、利用者等の選択を通じて防火安全に対する認識を高めて火災被害の軽減を図るとともに、建物の関係者による防火安全体制の確立を促すことを目的としている。

対象となる建物は、劇場、映画館、飲食店、物品販売店、ホテル、病院及び社会福祉施設等不特定多数の者が利用する建物で、消防用設備のうち、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備及び自動火災報知設備について、設置義務があるにも関わらず、当該設備を構成する機器等が一切設置されていない建物となる。

当該建物については、違反が是正されたことを確認できるまでの間、富士山南東消防本部ホームページへの掲載により、建物の名称及び所在地、違反の内容等の情報が公表されることとなる。

防火対象物数及び査察状況

(平成28年度)

防火対象物の区分 (対象物数)	項目	防火対象物数				査 実 施 数	防 火 管 理 者 選 任 義 務 対 象 物 数	防火管理者を 選任している 防火対象物数		消 防 計 画 を 作成している 防火対象物数		
		計	三 島 市	裾 野 市	長 泉 町			選 任 率 (%)	届 出 率 (%)			
合 計		6,826	3,482	1,903	1,441	743	1,388	1,127	81.2	1,074	77.4	
1	イ	劇場等	6	3	2	1	2	5	5	100.0	5	100.0
	ロ	公会堂等	136	52	54	30	58	129	118	91.5	111	86.0
2	イ	キャバレー等										
	ロ	遊技場・ダンスホール	28	9	13	6	8	22	22	100.0	22	100.0
	ハ	性風俗店舗等										
3	イ	待合・料理店										
	ロ	飲食店	129	70	38	21	35	104	81	77.9	69	66.3
4		百貨店・マーケット	230	107	69	54	34	163	122	74.8	118	72.4
5	イ	旅館・ホテル等	50	15	28	7	11	25	25	100.0	24	96.0
	ロ	共同住宅等	2,698	1,432	627	639	38	187	154	82.4	148	79.1
6	イ	病院等	103	59	26	18	20	32	28	87.5	28	87.5
	ロ	老人短期入所施設等	56	34	12	10	4	52	52	100.0	52	100.0
	ハ	老人デイサービス等	96	50	26	20	21	65	62	95.4	55	84.6
	ニ	幼稚園・盲学校等	31	16	9	6	5	29	28	96.6	28	96.6
7		学校・各種学校	193	110	65	18	71	58	54	93.1	54	93.1
8		図書館等	16	5	1	10	4	9	8	88.9	8	88.9
9	イ	蒸気・熱気浴場等	1	1			1					
	ロ	公衆浴場	4	2	2		2	2	2	100.0	2	100.0
10		停車場等	9	7	2		8					
11		神社・寺院・教会	88	70	18		4	27	10	37.0	9	33.3
12	イ	工場・作業所	1,016	443	336	237	150	81	69	85.2	68	84.0
	ロ	映画・テレビスタジオ										
13	イ	駐車場等	48	27	12	9	12					
	ロ	飛行機等の格納庫	1		1							
14		倉庫	314	104	108	102	120	7	6	85.7	6	85.7
15		その他の事業所	651	312	204	135	60	115	90	78.3	87	75.7
16	イ	特定複合用途	616	418	147	51	49	232	156	67.2	148	63.8
	ロ	特定以外複合用途	301	134	101	66	25	41	32	78.0	29	70.7
16の2		地下街										
16の3		準地下街										
17		文化財等	2	1	1							

消防同意の事務処理状況

消防同意は、消防が防火の専門家という立場から建築物の火災予防について、設計の段階から関与して建築物の安全性を高めるために設けられた制度である。消防は、建物の建築確認に際しての同意などを通じて防火、防災に対する指導を行っている。

(平成28年度)

申請要旨	地域 合計	三島市			裾野市			長泉町		
		小計	指導無し	指導有り	小計	指導無し	指導有り	小計	指導無し	指導有り
合計 (件)	296	159	41	118	63	27	36	74	20	54
新 築	253	140	35	105	48	22	26	65	19	46
増 築	40	18	5	13	14	5	9	8	1	7
改 築										
用途変更	2				1		1	1		1
修 繕	1	1	1							

消防用設備等の検査状況

消防用設備等とは、消火設備、警報設備、避難設備、消防用水及び消火活動上必要な施設であり、火災による被害の軽減を図るという消防の目的を達成するために不可欠なものである。

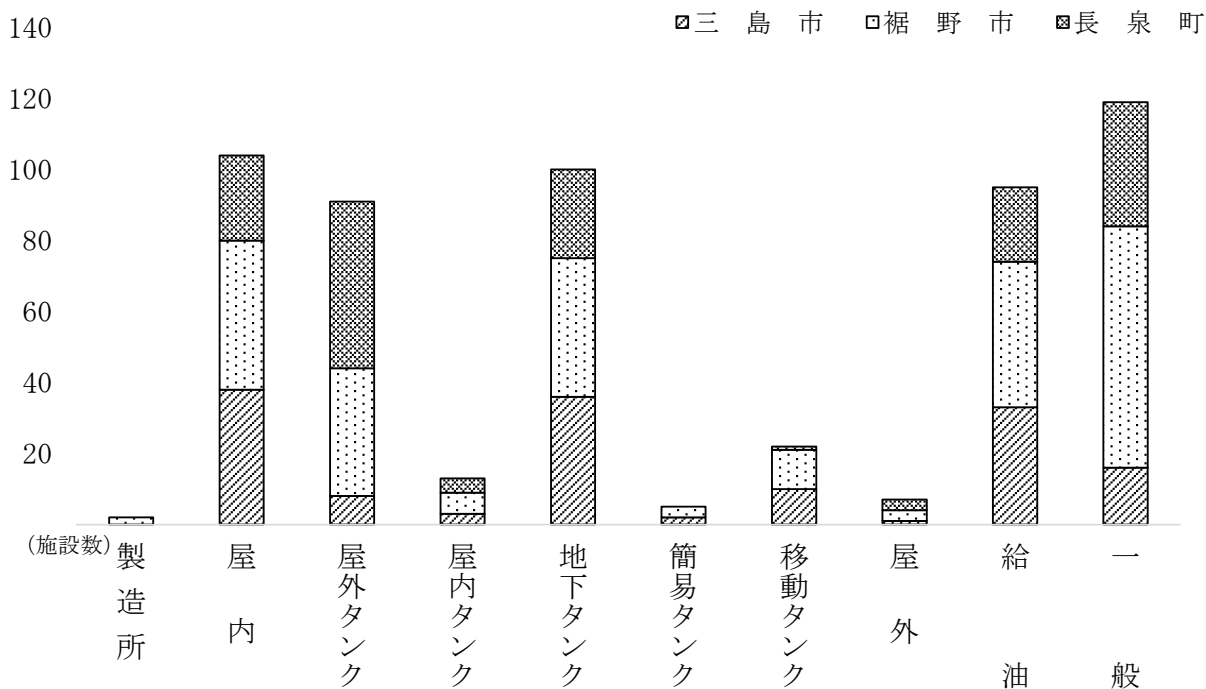
(平成28年度)

種 別	地域 合計	消火設備						警報設備				避難設備			消火活動上必要な施設			
		消火器	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	特殊消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ	自動火災報知設備	火災通報装置	非常警報設備	漏電火災警報器	避難器具	誘導標識	誘導標識	消防用水	非常コンセント設備	連結送水管	連結散水設備
合計 (件)	432	63	21	10	6	4	1	182	19	28		17	67	9	1	1	3	
三 島 市	145	25	8	4	1	2		55	7	6		7	21	8			1	
裾 野 市	93	9	3	3	4			42	8	9		2	13					
長 泉 町	194	29	10	3	1	2	1	85	4	13		8	33	1	1	1	2	

危険物施設数

(平成28年度)

区分	種別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所	
				屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	一般
合計(施設)		558	2	104	91	13	100	5	22	7	95	119
地域別	三島市	147		38	8	3	36	2	10	1	33	16
	裾野市	251	2	42	36	6	39	3	11	3	41	68
	長泉町	160		24	47	4	25		1	3	21	35
倍数別 ⁴	5倍以下	196		50	23	10	45	4	18	5	5	36
	5倍を超え 10倍以下	126	1	25	14	3	26	1		2	14	40
	10倍を超え 50倍以下	125		21	25		19		3		35	22
	50倍を超え 100倍以下	42	1	5	13		6		1		6	10
	100倍を超え 150倍以下	11		2	2		2				3	2
	150倍を超え 200倍以下	13		1	2		2				7	1
	200倍を超え 1,000倍以下	42			10						25	7
	1,000倍を超え 5,000倍以下	3			2							1
5,000倍を超えるもの												



⁴ 倍数は貯蔵最大数量又は取扱最大数量を消防法別表第1で定める指定数量で除して得た数値である。

危険物関係事務処理状況

(平成28年度)

区分	種別	合計	製造所	貯蔵所						所扱取		左記以外 ⁵		
				屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油		一般	
合計(件)		298	9	21		7	7			13		35	191	15
地域別	三島市	42	1	4			5			2		12	17	1
	裾野市	184	8	7			2			10		17	137	3
	長泉町	72		10		7				1		6	37	11
事務処理区分別	設置	許可	9		2			1			5		1	
		完成	10				2				5		2	1
	変更	許可	85	4	7		2	2					11	59
		完成	81	4	7		1	2					12	55
	常置場所変更	許可	2								2			
		完成	1								1			
	仮使用承認	75		5		2	1					7	60	
	仮貯蔵・仮取扱承認	11					1					2	3	5
	水張検査	21											11	10
水圧検査	3	1										2		

⁵ 仮貯蔵・仮取扱承認の項目欄の左記以外とは、許可施設以外の場所の承認数をいう。
水張検査の項目欄の左記以外とは、許可施設以外の場所の検査数をいう。

消防法による届出状況

(平成28年度)

根拠条文	届出の種類	届出件数 (件)			
		合 計	三島市	裾野市	長泉町
法第9条の3	圧縮アセチレンガス等の貯蔵・取扱いの届出	70	29	28	13

火災予防条例による届出状況

(平成28年度)

根拠条文	届出の種類	届出件数 (件)			
		合 計	三島市	裾野市	長泉町
合 計		1,275	507	466	302
条例第23条	火の使用に関する制限等	49	33	7	9
条例第43条	防火対象物の使用開始の届出等	136	61	27	48
条例第44条	火を使用する設備等の設置の届出	102	36	28	38
条例第45条	火災とまぎらわしい煙等を発するおそれのある行為等の届出	273	100	133	40
条例第45条	煙火の打上げ又は仕掛け	129	28	99	2
条例第45条	催物の開催	1		1	
条例第45条	水道の断水又は減水	70	41	5	24
条例第45条	道路工事	388	171	111	106
条例第45条	露店等の開設届出書	70	30	27	13
条例第46条	指定数量未満の危険物等の貯蔵及び取扱いの届出等	57	7	28	22

5 救急業務の状況



(救急大事故想定合同訓練風景)

救急業務の概要

平成 28 年中の管轄地域における救急出動件数は 8,160 件であり、搬送人員は 7,361 人であった。管轄地域の人口 207,121 人（平成 28 年 12 月 31 日時点の人口）に対し、1 日平均 22.4 件出動し、28.1 人に 1 人の割合で搬送したことになる。

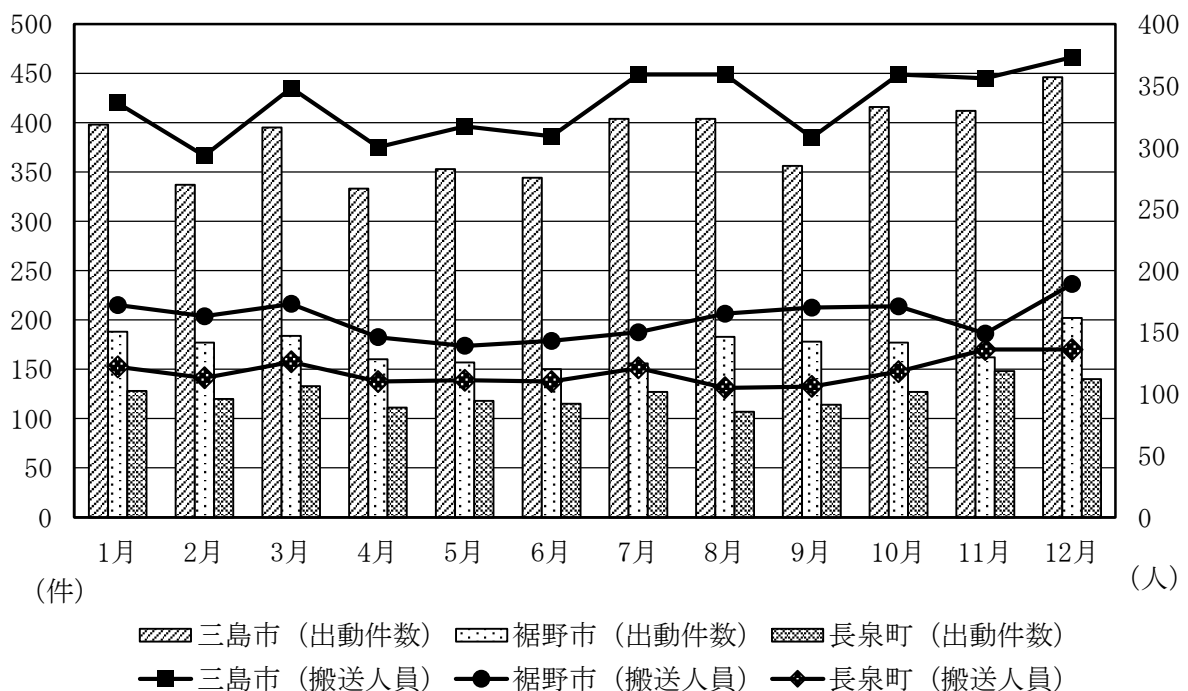
地域別の出動件数は、「三島市」4,585 件、「裾野市」2,044 件、「長泉町」1,531 件であり、事故種別では、「急病」が最も多く 4,811 件（59.0%）、次いで「転院搬送」1,166 件（14.3%）、「一般負傷」1,142 件（14.0%）の順となっている。

高齢者（満 65 歳以上）の搬送状況は 4,193 人で、搬送人員全体の 57.0% を占めている。

東名高速道路及び新東名高速道路における救急出動件数は、34 件であり、搬送人員は、29 人となっている。

〔月別救急出動件数及び搬送人員〕

（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）



救急業務の概況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

区 分		地 域	合 計	三島市	裾野市	長泉町
出動件数 (件)		計	8,160	4,585	2,044	1,531
事故種別	火 災		44	20	17	7
	自然災害					
	水 難		2	1	1	
	交 通		636	336	170	130
	労働災害		64	31	23	10
	運動競技		59	29	15	15
	一般負傷		1,142	660	284	198
	加 害		40	24	7	9
	自損行為		64	28	23	13
	急 病		4,811	2,741	1,145	925
	転 院		1,166	620	339	207
	そ の 他		132	95	20	17
搬送人員 (人)		計	7,361	4,011	1,907	1,443
事故種別	火 災		8	5	3	
	自然災害					
	水 難					
	交 通		626	322	169	135
	労働災害		63	30	23	10
	運動競技		57	29	14	14
	一般負傷		1,044	588	269	187
	加 害		37	21	8	8
	自損行為		42	16	18	8
	急 病		4,319	2,380	1,065	874
	転 院		1,165	620	338	207
	そ の 他					
程度別	死 亡		94	43	38	13
	重 症		890	515	203	172
	中等症		3,180	1,755	869	556
	軽 症		3,197	1,698	797	702
	そ の 他					
年齢区分別	新 生 児		4		3	1
	乳 幼 児		357	146	111	100
	少 年		267	134	82	51
	成 人		2,540	1,317	729	494
	高 齢 者		4,193	2,414	982	797

月別救急活動状況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

月	区分 (件) (人)	合計	事故種別													
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院	医師	資材	その他
合計	出動件数	8,160	44		2	636	64	59	1,142	40	64	4,811	1,166	8	1	123
	搬送人員	7,361	8			626	63	57	1,044	37	42	4,319	1,165			
1月	出動件数	714	5			42	7	2	120	1	6	411	112			8
	搬送人員	630				39	7	2	106	1	4	360	111			
2月	出動件数	634	4			44	4	4	86	1	7	369	101		1	13
	搬送人員	569				44	4	4	81	1	6	329	100			
3月	出動件数	712	4			65	6	6	82	3	5	443	92	1		5
	搬送人員	647				61	5	7	75	3	2	401	93			
4月	出動件数	604	2			46	6	5	94	2	3	357	87			2
	搬送人員	556				46	6	5	87	2	1	322	87			
5月	出動件数	628	4			66	5	5	100	6	6	351	77			8
	搬送人員	567	2			61	5	4	89	6	2	321	77			
6月	出動件数	609	2			51	6	6	96	5	7	336	89	2		9
	搬送人員	562	1			50	6	6	92	4	5	309	89			
7月	出動件数	687	3		1	60	6	5	88	7	6	416	90			5
	搬送人員	630	2			63	6	5	80	6	3	375	90			
8月	出動件数	694	6			36	4	3	80	1	2	439	115	1		7
	搬送人員	629				35	4	2	73	1	2	397	115			
9月	出動件数	648	2			46	5	7	87	3	9	377	98	1		13
	搬送人員	584	1			50	5	7	74	3	5	341	98			
10月	出動件数	720	6		1	59	1	3	95	2	4	448	87	1		13
	搬送人員	648	1			59	1	3	90	2	3	402	87			
11月	出動件数	722	5			60	3	9	95	6	5	415	110	1		13
	搬送人員	641	1			57	3	8	87	5	5	365	110			
12月	出動件数	788	1			61	11	4	119	3	4	449	108	1		27
	搬送人員	698				61	11	4	110	3	4	397	108			

救急隊員の行った応急処置

処置 程度	合 計						急 病					
	総 計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
応急処置人数（人）	7,344	94	889	3,177	3,184		4,315	78	540	1,818	1,879	
合 計（件）	28,406	491	4,192	12,565	11,158		17,127	402	2,662	7,407	6,656	
止 血	162		12	44	106		13			4	9	
固 定	480	8	59	199	214		13		4	5	4	
人工呼吸	12	7	5				11	7	4			
胸骨圧迫	自動 ⁶											
心肺蘇生	186	87	98	1			160	75	84	1		
	自動 ⁶	53	29	23	1		51	28	22	1		
酸素吸入	1,486	79	491	759	157		1,002	67	333	489	113	
気道確保	294	88	156	45	5		251	76	135	35	5	
	※ ⁷	3	1	2			3	1	2			
	※ ⁸	10	4	5	1		9	4	5			
	※ ⁹	81	45	36			69	38	31			
	※ ¹⁰	7	1	6			4	1	3			
保 温	1,560	20	176	709	655		926	15	96	398	417	
被 覆	442	1	20	108	313		23		1	10	12	
在宅療法継続	23	2	4	12	5		23	2	4	12	5	
除 細 動	25	5	19	1			25	5	19	1		
静脈路確保 ¹¹	69	31	36	2			56	26	29	1		
薬 剤 投 与	36	13	23				30	11	19			
血 圧 測 定	6,925	8	797	3,112	3,008		4,029	4	471	1,784	1,770	
聴診器による聴取	1,400	35	268	695	402		932	29	184	456	263	
血中酸素飽和度測定	7,036	12	804	3,121	3,099		4,097	7	477	1,783	1,830	
心 電 図	3,509	83	662	1,634	1,130		2,533	69	453	1,146	865	
そ の 他	4,761	12	562	2,123	2,064		3,003	9	349	1,282	1,363	

⁶ 胸骨圧迫及び心肺蘇生の自動とは、専用機器により処置を行った件数を内数として記載。

⁷ 経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数を内数として記載。

⁸ 喉頭鏡・鉗子等により異物除去を行った件数を内数として記載。

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

交 通						一般負傷						その他					
計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
623	3	25	126	469		1,037	6	69	364	598		1,369	7	255	869	238	
2,358	14	158	600	1,586		3,717	38	280	1,298	2,101		5,204	37	1,092	3,260	815	
30		5	9	16		94		2	17	75		25		5	14	6	
237	2	22	79	134		160	1	19	86	54		70	5	14	29	22	
												1		1			
5	1	4				7	6	1				14	5	9			
						1	1					1		1			
58	2	18	28	10		58	6	16	23	13		368	4	124	219	21	
6	1	5				14	6	4	4			23	5	12	6		
						1			1								
1		1				5	4	1				6	3	3			
1		1										2		2			
126		10	34	82		210	3	21	75	111		298	2	49	202	45	
113		9	26	78		263	1	6	50	206		43		4	22	17	
2	1	1				4	2	1	1			7	2	5			
						1	1					5	1	4			
596	1	20	124	451		976	1	67	354	554		1,324	2	239	850	233	
138	1	16	53	68		88	3	15	30	40		242	2	53	156	31	
605	1	22	125	457		1,003	2	66	355	580		1,331	2	239	858	232	
155	3	20	66	66		250	6	24	88	132		571	5	165	334	67	
287	1	6	56	224		589		38	215	336		882	2	169	570	141	

⁹ 救急救命士がラリゲルマスク等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載。

¹⁰ 救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数を内数として記載。

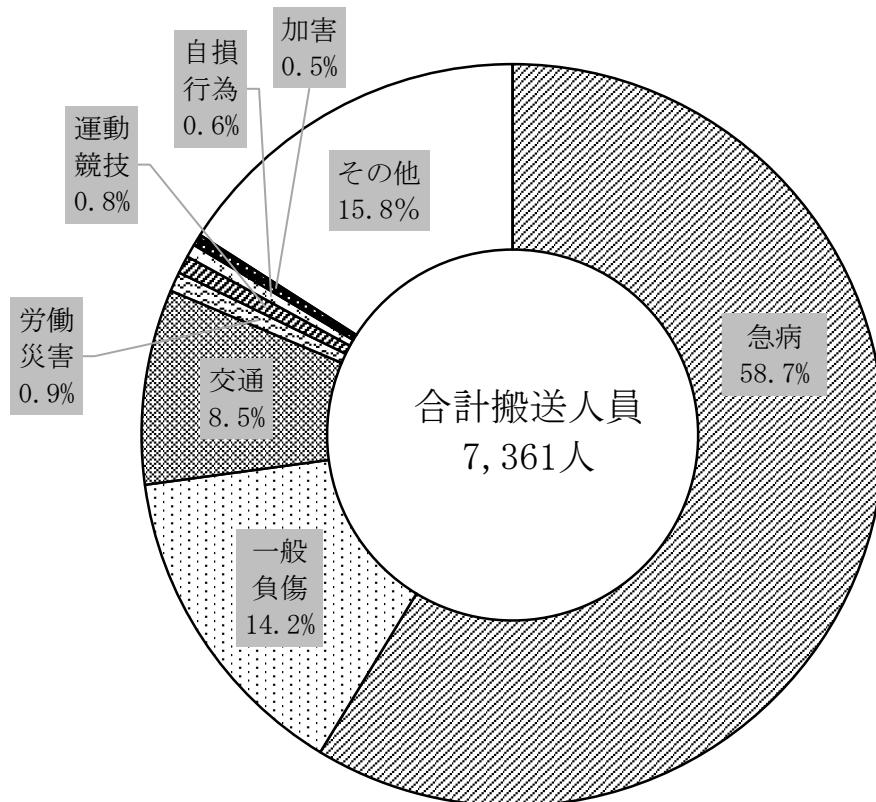
¹¹ 心肺機能停止前の静脈路確保を含む。なお、心肺機能停止前の静脈路確保については、救急救命処置の範囲の拡大により、静岡県においては平成28年4月1日以降実施が可能となった。

事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員

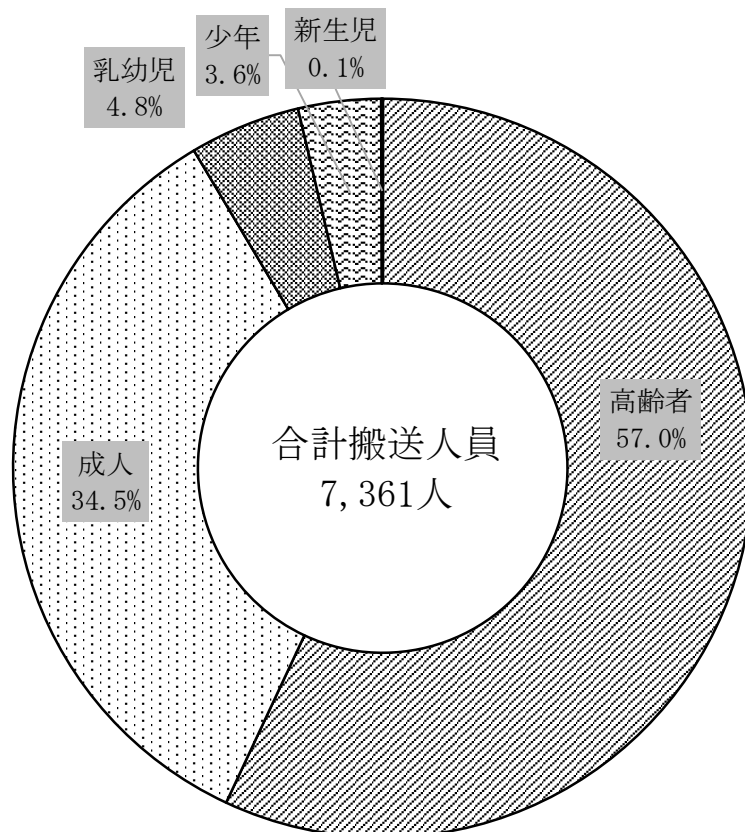
(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

年齢	種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院	医師	資材	その他
合計 (人)	計	7,361	8			626	63	57	1,044	37	42	4,319	1,165			
	死亡	94				3			6		5	78	2			
	重症	890	4			25	10	1	69		9	541	231			
	中等症	3,180	1			126	31	11	364	11	15	1,820	801			
	軽症	3,197	3			472	22	45	605	26	13	1,880	131			
	その他															
新生児 生後28日 以内	計	4										3	1			
	死亡															
	重症															
	中等症	2										1	1			
	軽症	2										2				
	その他															
乳幼児 生後29日 以上 7才未満	計	357				17			77			227	36			
	死亡	2										2				
	重症	10							1			6	3			
	中等症	81				1			10			47	23			
	軽症	264				16			66			172	10			
	その他															
少年 満7才以上 満18才 未満	計	267				64	1	32	46		1	99	24			
	死亡															
	重症	6				1			2		1		2			
	中等症	71				11		5	8			30	17			
	軽症	190				52	1	27	36			69	5			
	その他															
成人 満18才 以上 満65才 未満	計	2,540	5			414	51	23	205	32	31	1,411	368			
	死亡	15				2					3	10				
	重症	203	3			15	8	1	9		5	113	49			
	中等症	960				82	24	5	54	9	13	503	270			
	軽症	1,362	2			315	19	17	142	23	10	785	49			
	その他															
高齢者 満65才 以上	計	4,193	3			131	11	2	716	5	10	2,579	736			
	死亡	77				1			6		2	66	2			
	重症	671	1			9	2		57		3	422	177			
	中等症	2,066	1			32	7	1	292	2	2	1,239	490			
	軽症	1,379	1			89	2	1	361	3	3	852	67			
	その他															

事故種別搬送人員の分布



年齢区分別搬送人員の分布

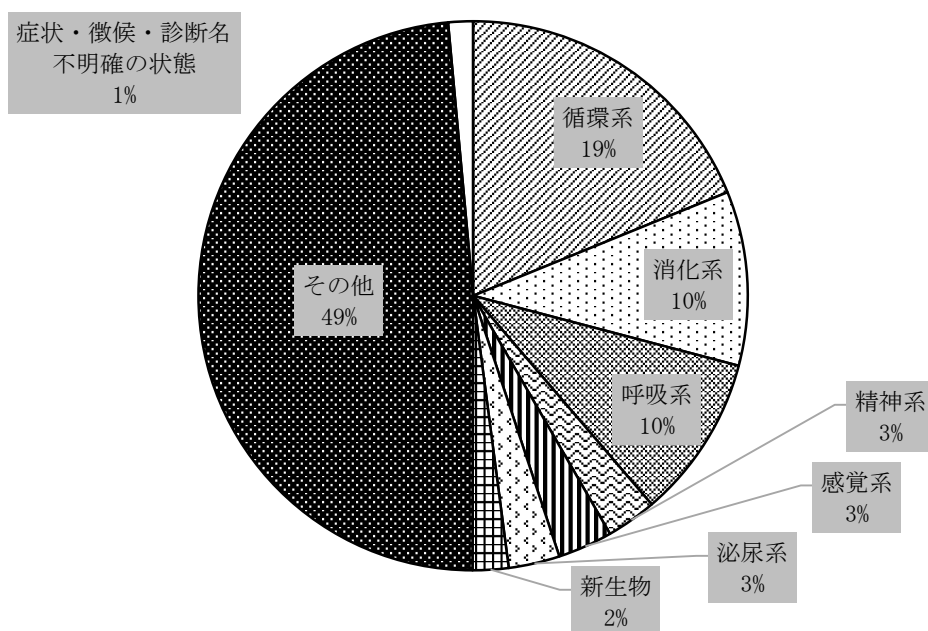


急病に係る疾病分類傷病程度別搬送人員

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

分類	程度	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
合計(人)		4,319	78	541	1,820	1,880	
循環系	計	814	15	223	384	192	
	脳疾患	461	1	133	246	81	
	心疾患	353	14	90	138	111	
消化系		443		25	216	202	
呼吸系		416	5	76	199	136	
精神系		128		3	34	91	
感覚系		139	1	3	60	75	
泌尿系		130		6	38	86	
新生物		91	1	46	39	5	
その他		2,095	41	154	835	1,065	
症状・徴候・診断名不明確の状態		63	15	5	15	28	

疾病分類別搬送人員



曜日別救急出動件数

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

種別 曜日	合計 (件)	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他			
												転院 搬送	医師	資材	その他
合計	8,160	44		2	636	64	59	1,142	40	64	4,811	1,166	8	1	123
日	1,132	6			86	2	26	169	8	8	722	83	2		20
月	1,203	10			92	10	3	142	3	8	704	210			21
火	1,124	6		1	95	12	3	152	8	5	644	186			12
水	1,189	6			74	4	4	175	5	10	712	182	2		15
木	1,126	4			103	14	5	144	7	16	660	151	2	1	19
金	1,191	7			93	12	3	162	2	9	678	208			17
土	1,195	5		1	93	10	15	198	7	8	691	146	2		19

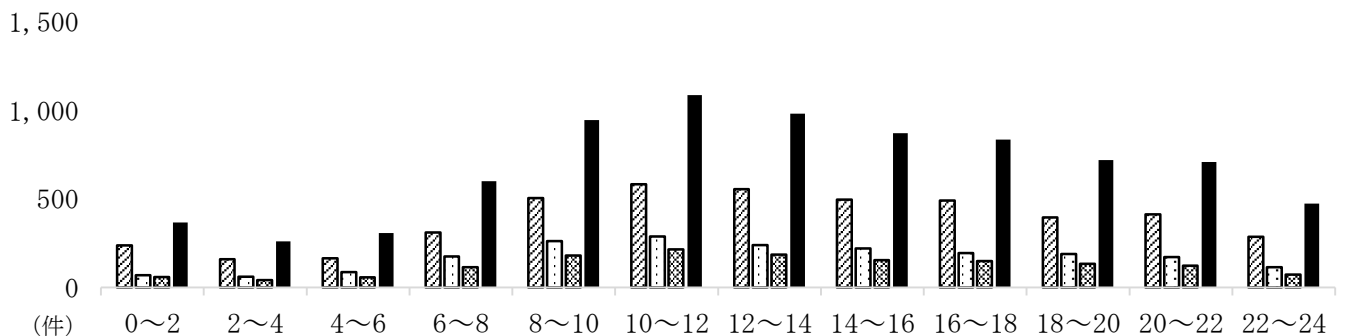
時間別救急出動件数

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

種別 時間	合計 (件)	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他			
												転院 搬送	医師	資材	その他
合計	8,160	44		2	636	64	59	1,142	40	64	4,811	1,166	8	1	123
0～2	367	1			21	1		40	4	8	276	4			12
2～4	261	2			4	2		27	9	1	199	7			10
4～6	308	3			16			33	6	2	238	3			7
6～8	601	3		1	76	1		78	2	9	416	6			9
8～10	946	4			67	8	4	141	2	5	587	118	5		5
10～12	1,087	4		1	56	15	12	162	2	7	542	275			11
12～14	982	3			85	8	21	154	1	2	468	229		1	10
14～16	871	7			94	12	10	140		6	434	156	3		9
16～18	835	6			68	7	4	124	3	8	442	164			9
18～20	720	6			72	7	2	84	1	9	421	105			13
20～22	708	5			59	3	5	94	4	3	444	76			15
22～24	474				18		1	65	6	4	344	23			13

時間別救急出動件数

■三島市 □裾野市 ▨長泉町 ■合計



東名高速道路出動状況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

区分		月	合計	月											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	出動件数(件)		13	3		2	1	1	2		2	2			
	搬送人員(人)		13	4		2	1	1	2			3			
上り	出動件数		3	1				1			1				
	搬送人員		3	2				1							
下り	出動件数		10	2		2	1		2		1	2			
	搬送人員		10	2		2	1		2			3			

(件)		行政区域	合計	富士市	沼津市	長泉町	裾野市	御殿場市
上り ¹²			3				3	
下り			10				10	

新東名高速道路出動状況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

区分		月	合計	月											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	出動件数(件)		21			6	1	1	2	1	2	2	3	2	1
	搬送人員(人)		16			6	1		2	1	2	1	1	1	1
上り	出動件数		1								1				
	搬送人員		1								1				
下り	出動件数		20			6	1	1	2	1	1	2	3	2	1
	搬送人員		15			6	1		2	1	1	1	1	1	1

(件)		行政区域	合計	富士市	沼津市	長泉町	裾野市	御殿場市
上り			1			1		
下り ¹³			20	6	14			

¹² 駒門PA(御殿場市)への出動を含む。

¹³ 駿河湾沼津SA(沼津市)への出動を含む。

救急救命士の状況

救急救命士運用状況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

区 分		合計	急病	交通	一般	その他	
全 出 動 件 数 (件)		8,160	4,811	636	1,142	1,571	
救急救命士搭乗出動件数 (件)		8,151	4,808	633	1,141	1,569	
救急救命士搭乗率 (%)		99.9	99.9	99.5	99.9	99.9	
管 轄 別	三 島 消防署	全 出 動 件 数	4,598	2,739	343	657	859
		救 急 救 命 士 搭 乗 出 動 件 数	4,597	2,739	343	657	858
		救 急 救 命 士 搭 乗 率	99.9	100.0	100.0	100.0	99.9
	裾 野 消防署	全 出 動 件 数	2,074	1,181	168	293	432
		救 急 救 命 士 搭 乗 出 動 件 数	2,066	1,178	165	292	431
		救 急 救 命 士 搭 乗 率	99.6	99.7	98.2	99.7	99.8
	長 泉 消防署	全 出 動 件 数	1,488	891	125	192	280
		救 急 救 命 士 搭 乗 出 動 件 数	1,488	891	125	192	280
		救 急 救 命 士 搭 乗 率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

救命処置実施状況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

区 分 (人)		合計	急病	交通	一般	その他	
心肺蘇生対象傷病者		189	162	5	8	14	
救急救命士搭乗隊 心肺蘇生対象傷病者		189	162	5	8	14	
救命処置実施者数		117	101	2	5	9	
救 命 処 置	気道確保		73	2	5	8	
		気管挿管	7	4	1		2
	除細動		25	25			
	静脈路 確保		64	55		2	7
		薬剤投与	36	30		1	5

現場到着時心肺停止傷病者の状況

心肺停止傷病者に対する心肺蘇生実施状況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

区 分 (人)		合計	急病	交通	一般	その他
心肺停止傷病者		317	264	6	9	38
心肺蘇生対象傷病者 ¹⁴		189	162	5	8	14
心肺停止 時期	救急隊員が確認	17	15	1		1
	住民等により目撃	62	58		2	2
	目撃者なし	110	89	4	6	11
医師初診 時の程度	死 亡	87	75	1	6	5
	重 症	100	86	4	1	9
	中等症	2	1		1	
1週間後の生存者		14	12		1	1
1ヵ月後の生存者		10	8		1	1

バイスタンダー実施状況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

区 分 (人)		合計	急病	交通	一般	その他
心肺蘇生対象傷病者 ¹⁴		189	162	5	8	14
口頭指導	あ り	144	127	2	6	9
	な し	45	35	3	2	5
処置内容	AED ¹⁵	5	5			
	心肺蘇生	8	6		2	
	胸骨圧迫	82	70	1	5	6
	人工呼吸					

¹⁴ 救急隊の現場到着前に蘇生した者も含む。

¹⁵ 自動体外式除細動器。

応急手当普及講習実施状況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

区分 講習内容の種別	開催回数 (回)	延べ受講者数 (人)	備考
普通救命講習 I	88	903	
普通救命講習 II・III	23	351	
上級救命講習	9	202	
普及員講習	5	59	

6 救助・警防業務の状況



(第46回静岡県消防救助技術大会風景 種目「ほふく救出」)

救助・警防業務の概要

平成 28 年中の管轄地域における救助出動件数は 79 件であり、救助人員は 44 人であった。地域別の出動件数は、「三島市」31 件、「裾野市」33 件、「長泉町」13 件であり、事故種別では、「交通事故」が最も多く 30 件、次いで「建物等による事故」の 25 件となっている。

警防出動件数は 954 件となっている。地域別の出動件数は、「三島市」565 件、「裾野市」250 件、「長泉町」124 件であり、種別では、「救急応援」が最も多く 601 件、次いで「ヘリ支援」の 103 件となっている。

救助活動の概況

(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

地 域	種 別	合 計	火災 ¹⁶		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故
			建 物	建物以外								
合 計	出動件数 (件)	79	4		30	4			25			16
	救助人員 (人)	44	2		20	1			15			6
三島市	出動件数	31	1		11	2			13			4
	救助人員	19	1		8				10			
裾野市	出動件数	33	3		15	2			4			9
	救助人員	14	1		7	1			1			4
長泉町	出動件数	13			2				8			3
	救助人員	8			2				4			2
高速道路 ¹⁷	出動件数	2			2							
	救助人員	3			3							

¹⁶ 「火災」とは救助隊及び消防隊が出動した火災のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った火災を示す。(以下、同じ。)

¹⁷ 「高速道路」とは東名・新東名高速道路の出動を示す。
ただし、東名高速道路については、上りの裾野 IC～御殿場 IC 間 (駒門 PA を含む。)、下りの裾野 IC～沼津 IC 間とする。新東名高速道路については、上りの長泉沼津 IC～御殿場 JCT 間、下りの長泉沼津 IC～新富士 IC 間 (駿河湾沼津 SA を含む。) とする。(以下、同じ。)

月別救助活動状況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

月	種別	合計	火災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外								
合計	出動件数 (件)	79(2)	4		30(2)	4			25			16
	救助人員 (人)	44(3)	2		20(3)	1			15			6
1月	出動件数	5			2				3			
	救助人員	3			2				1			
2月	出動件数	4	1						3			
	救助人員	1							1			
3月	出動件数	7(1)			5(1)				2			
	救助人員	7(2)			5(2)				2			
4月	出動件数	3			2				1			
	救助人員	2			1				1			
5月	出動件数	8	1		3				1			3
	救助人員	5	1		4							
6月	出動件数	6(1)			3(1)	1						2
	救助人員	3(1)			1(1)	1						1
7月	出動件数	12			6	1			2			3
	救助人員	6			3				1			2
8月	出動件数	5			1				3			1
	救助人員	5			1				3			1
9月	出動件数	1			1							
	救助人員	1			1							
10月	出動件数	7			2	1			2			2
	救助人員	2			1							1
11月	出動件数	11	2		2				5			2
	救助人員	6	1						5			
12月	出動件数	10			3	1			3			3
	救助人員	3			1				1			1

() は内数で、東名・新東名高速道路の出動を示す。

警防活動の概況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

種別 地域	合計 (件)	自火 報発報	ガス 漏洩	漏洩 処理	施設 漏洩	毒劇物 放射能	火災 警戒	怪煙 確認	調査	自然 災害	風水 害	無応 答確認	へり 支援	警戒 その他	救急 応援	検索 活動	誤報 等	管外 出動
合計	954	62	4	17	11		12	20	29	4	32	2	103	37	601		20	
三島市	565	38	1	15	1		7	7	27	4	28		43	30	355		9	
裾野市	250	11	1	1	7		4	10	1		1		47		158		9	
長泉町	124	13	2	1	2			2			3	2	13	7	77		2	
高速道路	15				1		1	1	1						11			

月別警防活動状況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

種別 月	合計 (件)	自火 報発報	ガス 漏洩	漏洩 処理	施設 漏洩	毒劇物 放射能	火災 警戒	怪煙 確認	調査	自然 災害	風水 害	無応 答確認	へり 支援	警戒 その他	救急 応援	検索 活動	誤報 等	管外 出動
合計	954 (15)	62	4	17	11 (1)		12 (1)	20 (1)	29 (1)	4	32	2	103	37	601 (11)		20	
1月	73 (2)	9						1	1				4	1	54 (2)		3	
2月	58	1			1				2				4	4	42		4	
3月	70 (5)	7		1	4 (1)			4	2 (1)				4		46 (3)		2	
4月	59	3		1	1		1		1		6		4	1	39		2	
5月	62 (1)	3	1				1	1			3		4	4	43 (1)		2	
6月	64 (1)	1	1	2	2						4		9	3	42 (1)			
7月	79 (1)	4		1	1		1	3	3		9		10	5	40 (1)		2	
8月	99 (2)	7		1			4 (1)	2	6	1	6		12	4	54 (1)		2	
9月	90 (1)	6		2	2		2	1	8	3		1	9	8	47 (1)		1	
10月	84	4		4			1	1	1				12	3	57		1	
11月	90 (1)	7	2	3				2 (1)	3				12	2	58		1	
12月	126 (1)	10		2			2	5	2		4	1	19	2	79 (1)			

() は内数で、東名・新東名高速道路の出動を示す。

緊急消防援助隊概要

緊急消防援助隊は、平成7年(1995年)1月17日の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動をより効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、全国の消防本部の協力を得て、平成7年6月に創設された。

この緊急消防援助隊は、いったん、我が国のどこかにおいて大規模災害が発生した場合には、全国から当該災害に対応できるだけの消防部隊が被災地に集中的に出動し、人命救助等の消防活動を実施するというシステムである。

富士山南東消防本部においても、次の7隊を登録している。

(平成29年4月1日現在)

区 分	部隊数 (隊)
合 計	7
消火部隊	4
救急部隊	2
後方支援部隊	1



(緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練風景)

7 通信業務の状況



(消防指令センター)

通 信 業 務 の 概 要

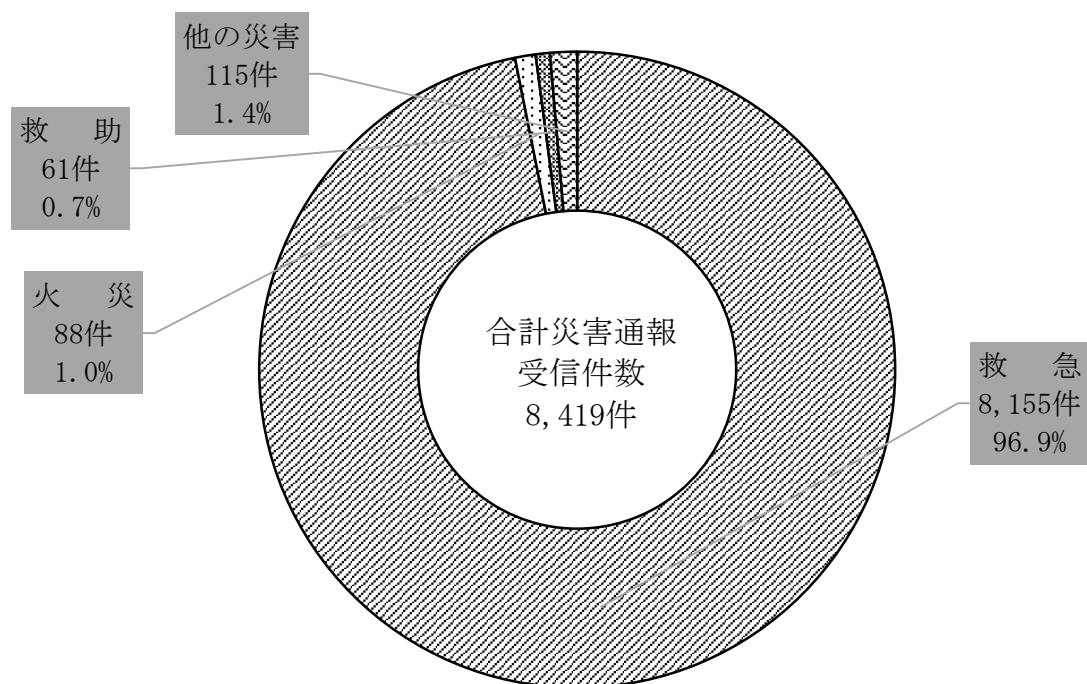
平成 28 年中の管轄地域における災害通報受信件数は、8,419 件であった。

種別で見ると、「救急」が最も多く 8,155 件、次いで「火災」の 88 件となっている。また、地域別の 119 番受信件数では、「三島市」4,876 件、「裾野市」1,938 件、「長泉町」1,429 件であった。

回線別では、「携帯 119 番受信」が最も多く 3,604 件、次に「119 番受信（固定電話）」が 2,482 件、「IP 電話」が 2,157 件となっている。

〔災害通報受信件数〕

(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)



災害受信件数

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

別 区 分	種 種	合 計 (件)	災害通報					緊急性のないもの						
			小 計	火 災	救 急	救 助	他 の 災 害	小 計	問 い 合 わ せ	間 違 い	いた ず ら	回 線 試 験	訓 練 他	
119番受信件数合計		10,928	8,243	76	8,037	56	74	2,685	979	773	15	402	516	
※ ¹⁸		183	27		22		5	156	2	92	1	60	1	
119番受信件数	地域別	三島市	6,429	4,876	44	4,761	28	43	1,553	596	398	9	268	282
		※ ¹⁸	92	16		14		2	76		33	1	41	1
	裾野市	2,630	1,938	28	1,874	22	14	692	219	227			103	143
		※ ¹⁸	63	7		6		1	56	1	44			11
	長泉町	1,869	1,429	4	1,402	6	17	440	164	148	6	31	91	
		※ ¹⁸	28	4		2		2	24	1	15			8
	回線別	119番受信	3,537	2,482	14	2,435	9	24	1,055	216	376	7	223	233
		携帯119番受信	4,958	3,604	46	3,481	39	38	1,354	624	315	5	166	244
		IP電話	2,433	2,157	16	2,121	8	12	276	139	82	3	13	39
		FAX												
メール119														
加入電話		237	176	12	118	5	41	61	27	21		8	5	
合計		11,165	8,419	88	8,155	61	115	2,746	1,006	794	15	410	521	
前年		10,672	8,225	74	7,861	76	214	2,447	907	664	17	398	461	
増減		493	194	14	294	△15	△99	299	99	130	△2	12	60	

¹⁸ 緊急通報システム（ペンダント）件数を内数として記載。

平成28年版 消防年報

発行年月	平成29年7月
発行	静岡県三島市南田町4番40号 富士山南東消防本部
編集	総務課
T E L	055-972-5801
F A X	055-973-0125
E - m a i l	soumu@fdfujisan-nantou.shizuoka.jp
ホームページ URL	http://fdfujisan-nantou.shizuoka.jp/